

4年間を振り返って

肌寒い日が多くなってきました。スーパ―には、私の大好きなサツマイモやカボチャがずらりと並び、外を歩くとトンボが空を泳ぎまわっています。

トンボは「前にか進まない」ことから「勝ち虫」とも呼ばれ、大事な試合や試験の日にはトンボのお守りを持って臨んでいたの、私にとっては勇気の象

徴、そんなことを思い出しながら、秋を感じる今日この頃です。

さて、大学生活も残り半年を切りました。振り返ると、私がこの大学に入学したのは2020年、コロナ元年でした。入学式を終え、いきなり2週間の休講と外出自粛から大学生活は幕を開けました。その後は自宅でのオンライン講義が多

く、全ての講義が学校で受けられるようになったのは今年からです。

勉強にサークル、友人とご飯や旅行に行ったり：思い描いていたキラキラした大学生活と大きく異なるその生活にやるせない気持ちがあったことは確かです。

ださった大学と先生方、実習施設、市民の方々からいただいた支援物資や温かな言葉かけ、両親や友人たちの存在、私が「学生」でいられるためにこんなにも多くの人に支えられていることを実感し、感謝の気持ちで一杯です。温かな輝きがある4年間でした。

忍耐力、打開力、自分自身で生活を豊かにしていく創造力、1年1年この力を身に付け、そして、たくさんの方々に支えていただき乗り越えて



市で看護師になる予定です。名寄市の皆様へ恩返しができるように、そして、看護師として働く上での目標、夢のために、

きました。大学を卒業しこれから先、たくさんの方々の困難に、壁に阻まれることでしょうか。しかし、この経験を糧に乗り越えていけるような気がします。

まずは国家試験合格を目標に少しでも早く一人前の看護師になれるように前へ前へ進んでいきたいと思っています。トンボのように。

看護学科4年

城野琴音

連日30℃超えの暑かった夏も終わり、